



BOSCH

DICENTIS

ワイヤレス会議システム



ja

ソフトウェアマニュアル

目次

1	安全について	4
2	本書について	5
2.1	対象読者	5
2.2	著作権および免責事項	5
2.3	文書履歴	5
3	システムの概要	7
3.1	安全対策	7
3.2	GUI 言語	7
4	初めて使用する場合の構成	8
4.1	ログイン (Login)	9
4.2	ワイヤレスデバイスの初期化	10
5	Web ブラウザインターフェイス	12
5.1	ディスカッションの管理 (Manage discussion)	15
5.2	ディスカッションの準備 (Prepare discussion)	16
5.3	投票 (Voting)	18
5.4	システム設定 (System settings)	20
5.4.1	アップグレード (Upgrade)	20
5.4.2	ユーザー (Users)	22
5.4.3	音声 (Audio)	22
5.4.4	イコライザ (Equalizer)	23
5.4.5	カメラ (Cameras)	23
5.4.6	ライセンス (Licensing)	25
5.4.7	ネットワークと全般設定 (Network and general settings)	26
5.4.8	座席 (Seats)	29
5.4.9	日付と時刻 (Date and time)	30
5.4.10	キャリアマネジメント	30
5.5	参加者 (Participants)	31
5.6	電源	33
5.7	バッテリーとシグナル (Battery & Signal)	33
5.8	ロギング (Logging)	34
5.9	システム情報 (System info)	34
5.10	ログアウト (Logout)	34
6	ワイヤレスアクセスポイントLEDの動作	35
7	トラブルシューティング	37
7.1	カスタマサービス	37
7.2	トラブルシューティング表	37

1 安全について

製品の設置や操作の前には、別途、多言語に翻訳された資料の『安全に関する重要事項』(Safety_ML)を必ずお読みください。この資料は、主電源に接続されるすべての機器に添付されています。



古い電気・電子機器

すでに修理対応が終了した電気・電子装置は分別して収集し、環境適合のリサイクルに出すことが義務付けられています(電気・電子機器廃棄物に関する欧州指令に準拠)。

古い電気・電子装置の廃棄には、各国が導入する回収システムを利用してください。

2 本書について

このマニュアルは、DICENTIS ワイヤレス会議システムの構成、準備、および管理に必要な情報を提供することを目的としています。このマニュアルでは、ワイヤレスアクセスポイント (DCNM-WAP) Web ブラウザインターフェイス の一般的な使用方法について説明しています。必要に応じて、設置マニュアルおよび DICENTIS ワイヤレス会議システムの ワイヤレスデバイス ユーザーマニュアルを参照してください。

このマニュアルは、Adobe Portable Document Format (PDF) の電子版ドキュメントで提供されています。

詳細については、www.boschsecurity.comの製品関連情報を参照してください。

2.1 対象読者

このマニュアルは、DICENTIS ワイヤレス会議システム を構成、準備、または管理する権限を持つ担当者を対象としています。

2.2 著作権および免責事項

All rights reserved.形態や媒体を問わず、電子的、機械的、フォトコピー、録画、またはその他の方法で、発行者の書面による許可なく本書の内容の一部またはすべてを複製または転送することは禁じられています。情報の転載および引用許可を申請する場合は、Bosch Security Systems B.V.までご連絡ください。

内容および図は、予告なく変更されることがあります。

2.3 文書履歴

発行日	バージョン番号	理由
2015.03	V1.0	初版。
2016.07	V2.0	4、4.1、4.2、5、5.2、5.3、5.4、5.4.1、5.4.2、5.4.4、5.4.5、5.4.6、5.4.7、5.4.9、5.5、5.6、5.7、5.8、5.9、6、7.2 の各セクションを更新。 5.4.10 のセクションを追加。
2017.08	V2.1	4、5.2、5.4.7、7.2 の各セクションを更新。 3.1 のセクションを追加。
2018.02	V2.2	5.3、5.5 の各セクションを更新。
2018.08	V2.3	5.4.5、5.4.8 の各セクションを更新。
2020.05	V2.4	次のセクションを追加。 - GUI 言語 次のセクションを更新。 - 投票 (Voting) : 出席ボタンを押さない投票に関する情報を記載。

発行日	バージョン番号	理由
		<ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="1088 238 1442 451">- アップグレード (Upgrade) : システムデバイスのオープンソースソフトウェアのライセンス条件のダウンロードに関する情報を記載。<li data-bbox="1088 459 1442 591">- システム情報 (System info) : API バージョンと OSS のライセンス条件に関する情報を追記。

3 システムの概要

DICENTIS ワイヤレス会議システム は、IP ベースの「スタンドアロン」システムです。
WiFi IEEE 802.11n を使用して、音声信号およびデータ信号の無線配信と処理を行います。

システムの概要については、DICENTIS ワイヤレス会議システム 設置マニュアルを参照してください。

3.1 安全対策

インストールソフトウェアは、インターネットおよびローカル有線または無線ネットワーク経由でのシステムの不正使用を防ぐための安全対策を実施します。

セキュリティを高めるために、以下の項目を検討してください。

- デフォルトの管理者パスワードの変更
- デフォルトの SSID の変更
- DCNM-WAP への不正アクセスの防止
- DCNM-WAP の有線イーサネット接続への不正な物理および論理アクセスの防止
- DCNM-WAP を独立した VLAN に接続
- サードパーティまたは外部ネットワークを使用している場合、ファイアウォールおよび VPN または他のセーフネットワークプロトコルを使って、外部接続の不正アクセスを防止する必要があります

3.2 GUI 言語

DICENTIS ワイヤレス会議システムには、次の GUI 言語が用意されています。

	ar	cs	de	en	el	es	fi	fr	hu	id	it	ja	ko	nl	pl	pt	pt-BR	ru	th	tr	vi	zh-CN	zh-TW
Web ブラウザ	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
タッチスクリーン付きディスプレイデバイス	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•

4 初めて使用する場合の構成

ワイヤレスアクセスポイント (DCNM-WAP) には Web ブラウザインターフェイス ウィザードが含まれ、DICENTIS ワイヤレス会議システム の初期設定に使用できます。

Webブラウザ

DCNM-WAP Web ブラウザインターフェイス は、次の Web ブラウザの最新バージョンと互換性があり、最適化されています。

- Internet Explorer
- Safari
- Firefox
- Opera
- Chrome

前提条件

- 使用されるすべてのシステムデバイスは、DICENTIS ワイヤレス会議システム 設置マニュアルの説明どおりに準備および設置されています。「システムの概要, ページ7」もご覧ください。
- ワイヤレスアクセスポイント (DCNM-WAP) の電源がオンになっています。
- Windows デスクトップ / ノート PC の場合、次のことを確認します。
 - Bosch DNS-SD がインストールされている。Bosch DNS-SD は DCNM-WAP に付属の DVD に入っており、www.boschsecurity.com 上の関連した製品ページからダウンロードすることもできます
 - 動的 IP アドレスがデスクトップ / ノート PC に割り当てられている。デスクトップ / ノート PC に固定 IP アドレスが割り当てられている場合、Web ブラウザインターフェイスは正常に動作しません。
- その他のデバイスの場合、
 - Apple Bonjour がインストールされていることを確認します。Apple Bonjour は Apple Web サイトからダウンロードできます。Apple Bonjour が必要なのは、DCNM-WAP の (リンクローカルの) デフォルト Web アドレスを入力する場合です。
注: Apple Bonjour と Bosch DNS-SD は Android では使用できません。
- WiFi を使用する場合、2.4 GHz および 5 GHz の両方がデバイスで使用できることを確認してください。

DCNM-WAP の接続方法

1. WiFi を使って DCNM-WAP に直接接続するには
 - PC / タブレットの WiFi 検出機能を使い、[DICENTIS ワイヤレス会議システム ネットワーク名 (SSID)] で次を選択します: **Bosch DICENTIS**
 - [WPA2キー] に次のように入力します: **dcnm-wap**
 - 接続が確立されるまで待ちます。
 - Web ブラウザを開いて、「**http://dcnm-wap.local**」と入力します。Android では、「**http://172.27.2.1**」と入力します
2. 有線 (ピア ツー ピア接続、リンクローカル) で DCNM-WAP に直接接続するには
 - Web ブラウザを開いて、次のように入力します: **http://dcnm-wap.local**
注: Android は Bonjour および DNS-SD をサポートしていないため、この方法は Android では使用できません。
3. ネットワークインフラストラクチャ経由で DCNM-WAP (DHCP / DNS) に接続するには
 - ネットワーク所有者に DCNM-WAP のホスト名または IP アドレスを問い合わせます。

初期設定

- DCNM-WAP を初めて使用する場合 (または初期設定にリセットされた場合)、ウィザードが表示されます。
- [始めましょう] で、Web アプリケーションに必要な言語を選択して、[デバイスをセットアップ] をクリックします。

- **【国】** で、**【国】**、**【日付】**、**【時間】**、**【タイムゾーン】** を選択して、**【次へ】** をクリックします。



注意!

国が選択された場合、システムにより自動的にその国の正しい WIFI 設定が選択されます。

DCNM-WAP が発行される国以外の国を選択しないでください。WIFI の適合性は国ごとに決定されており、ある国で承認されていない WIFI 設定を使用することは違法です。

- **【ユーザー】** で、管理者ユーザーのパスワードを定義し、必要なユーザー権限で日常業務用にユーザーを追加します（「ユーザー (Users)」、ページ 22」を参照）。日常業務用に管理者ユーザーを使用することは勧められていません。**【次へ】** をクリックします。
- セキュリティ上の理由で、**【WiFi】** の **【ネットワーク名 (SSID)】**、**【WPA2キー】**、および **【ホスト名】** を意図的に空白のままにしておきます。特に 1 つのエリアに複数のシステムが存在する場合や冗長 WAP が使用されている場合は、一意の名前を入力します。これらの値を変更する場合、以下の制限が適用されます。
 - **【ネットワーク名 (SSID)】** の長さは、1 ~ 25 文字にする必要があります。次の文字が許可されています：A-Z、a-z、0-9、_、スペース。
 - **【WPA2キー】** の長さは、8 ~ 64 文字にする必要があります。
 - **【ホスト名】** の長さは、1 ~ 63 文字にする必要があります。次の文字が許可されています：A-Z、a-z、0-9、-。
 - **【ネットワーク名 (SSID)】**、**【WPA2キー】**、および **【ホスト名】** は必須項目で、一意の値を入力する必要があります。
 - **【デバイスをセットアップ】** をクリックして、これらの設定を保存します。
- ウィザードが完了し、WAP が再起動されます。
- ログインページが表示されます。

4.1

ログイン (Login)

システムには、別個の Web ブラウザまたはデバイス（タブレット、ノートまたはデスクトップ PC）を使用する複数のユーザーが同時にログインすることができます。

Web ブラウザインターフェイスアプリケーションへのログイン

1. **【ユーザー名】** と **【パスワード】** を入力します。
 - 新品または工場でのリセットされたシステムのデフォルト設定では、ユーザー名は「admin」、パスワードは空です。
2. ドロップダウンリストから希望の **【言語】** を選択し、**【ログイン】** をクリックします。
 - デフォルトの言語は、ブラウザが動作しているオペレーティングシステムの言語です。
 - デフォルトの言語が使用できない場合は、自動的に英語が選択されます。
3. ログインに成功すると、Web ブラウザインターフェイスホームページが表示されます。「Web ブラウザインターフェイス、ページ 12」を参照してください。

4.2 ワイヤレスデバイスの初期化

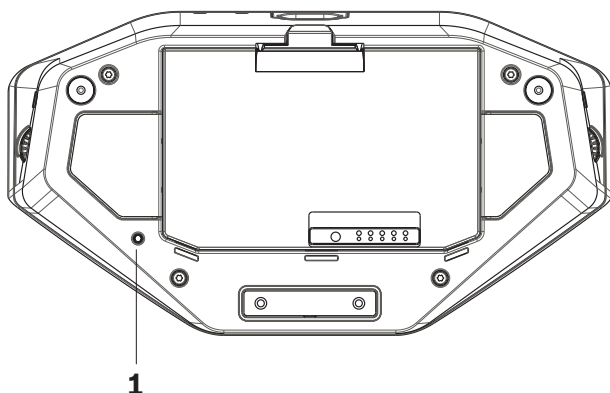


図 4.1: DCNM-WD および DCNM-WDE の底面

ワイヤレスデバイス および DCNM-WAP の前提条件

- DCNM-WAP の電源をオンにして、構成している必要があります。必要に応じて、「初めて使用する場合の構成, ページ 8」を参照してください。
- すべての ワイヤレスデバイス について、次の状態にあることを確認します。
 - DCNM-WAP の範囲内に置く。
 - 電源をオンにする（バッテリーパックを挿入して、マイク要求ボタンを押します）。
 - 初期化を解除する。

ワイヤレスデバイスは、ワイヤレスデバイスのすべての LED がオンの場合に初期化が解除されています。ワイヤレスデバイスの初期化を解除するには、すべての LED がオンになるまで、ワイヤレスデバイスの底面にある【初期化解除 (De-init)】ボタン (1) を細いスクリュードライバで押します。

Web ブラウザインターフェイスの前提条件

- ログイン済みユーザーは、「構成 (Configure)」アクセス権を持っている必要があります。

初期化

1. [Web ブラウザインターフェイス] で、[システム設定] > [座席] ページを選択します。「座席 (Seats), ページ 29」を参照してください。
2. [登録モード] を有効にします。

注記!

Windows 10 を実行している PC は、誤って DICENTIS オーディオ WiFi ネットワークへのサブスクリプションが行われている場合があります。これにより、音声の乱れが生じます。

DCNM-WAP のサブスクリプションが有効な場合、Windows 10 を実行している PC のサブスクリプションを行わないでください。

3. ワイヤレスデバイスのマイク要求ボタンを押します。
 - ワイヤレスデバイスはサブスクリプションを開始し、マイク要求ボタンの上にある LED バーは赤と緑に点滅し始めます。
 - LED バーがオフになると、ワイヤレスデバイスのサブスクリプションが完了したことを示します。
4. ワイヤレスデバイスのサブスクリプションが完了してから、次のワイヤレスデバイスのサブスクリプションを始めます。前のデバイスのサブスクリプションが完了する前にワイヤレスデバイスのサブスクリプションを開始すると重複が生じます。
 - 重複では、Web ブラウザインターフェイスに示されるように、サブスクリプションが2分間無効になります。



- 現在の重複期間が終わる前にサブスクリプションを開始すると、2分間の重複期間がリスタートされます。
 - 別の WiFi システムがサブスクリプションモードにある場合も、DCNM-WAP での重複期間が作動します。
5. すべてのワイヤレスデバイスのサブスクリプションが完了したら、**【登録モード】**を Web ブラウザインターフェイスアプリケーションで無効にします。サブスクリプションモードは、2分以内にサブスクライブされるデバイスがなければ自動的にオフになります。

5 Web ブラウザインターフェイス

ユーザー権限およびインストールされたライセンスに応じて、Web ブラウザインターフェイスホームページに次のボタンが表示されます。

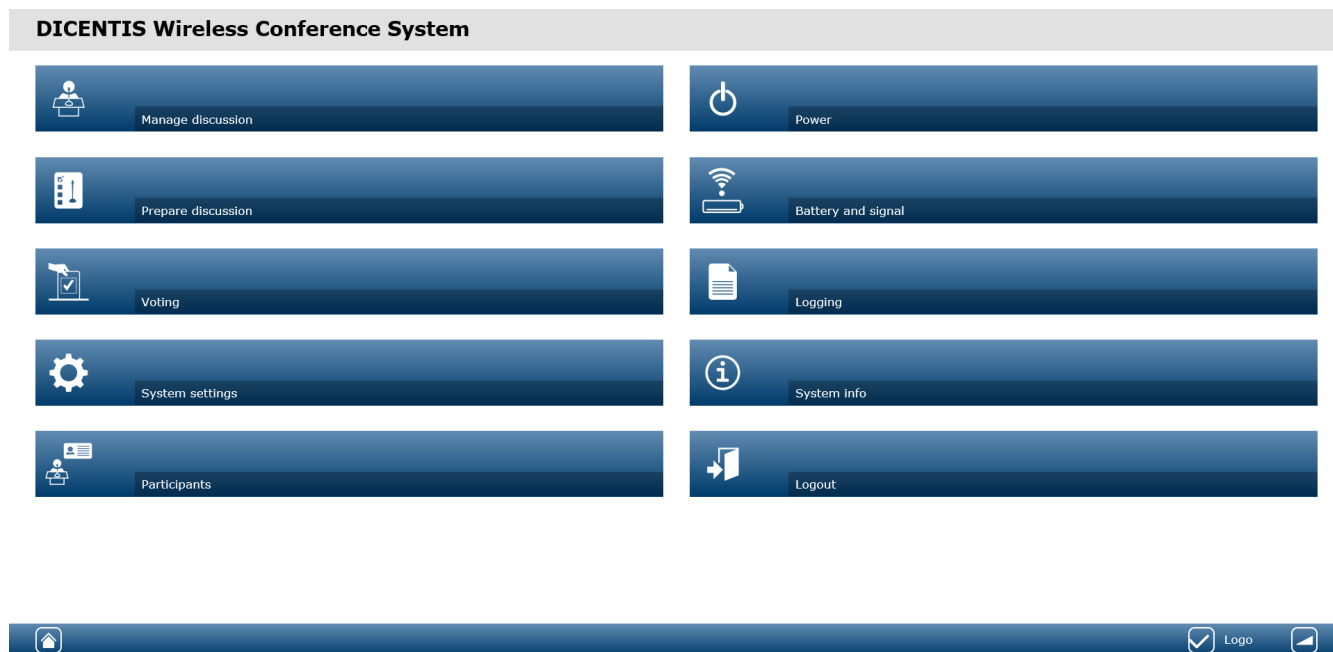
















図 5.1: Web ブラウザインターフェイスホームページ (通常のセットアップ)

ボタン	説明	アクセス権
 議論の管理	ディスカッションを管理できます。「ディスカッションの管理 (Manage discussion) , ページ 15」を参照してください。	会議の管理
 議論の準備	ディスカッションを準備できます。「ディスカッションの準備 (Prepare discussion) , ページ 16」を参照してください。	会議の準備
 投票	投票を使用できます。「投票 (Voting) , ページ 18」を参照してください。	会議の管理
 システム設定	システムを構成できます。「システム設定 (System settings) , ページ 20」を参照してください。	設定 または ユーザーの変更
 参加者	システムの ID モードを設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> 参加者を作成できます。 参加者に NFC-ID を付与できます。 参加者に座席を割り当てることができます。 「参加者 (Participants) , ページ 31」を参照してください。	会議の準備
 電源	- 【オン (On)】: DCNM-WAP を有効化します。ワイヤレスデバイスは手動でオンにする必要があります。ユーザーマニュアルの「電源オン」を参照してください。	システムの準備

ボタン	説明	アクセス権
	<ul style="list-style-type: none"> - スタンバイ (Standby) : サブスクリプションが行われたデバイスの電源をオフにし、DCNM-WAP をスタンバイにセットします。DCNM-WAP の Web ブラウザインターフェイスにはアクセスできます。 [スタンバイ (Standby)] から [オン (On)] に切り替えることで、ワイヤレスデバイスは自動的に再び有効になります (会議を一時停止する場合にこのオプションを使用します)。 - オフ (Off) : サブスクリプションが行われたデバイスをオフにします。DCNM-WAP の Web ブラウザインターフェイスにはアクセスできませんが、DCNM-WAP は伝送を停止します (会議を終了する場合はこのオプションを使用します) - キャンセル (Cancel) : [電源 (Power)] ポップアップウィンドウをキャンセルします。 	
 <p>バッテリーと信号</p>	<p>次の概要:</p> <ul style="list-style-type: none"> - ワイヤレスデバイスのバッテリーの状態。 - WiFi のシグナル強度のステータス。 - 圏内テストボタンと結果。 <p>「バッテリーとシグナル (Battery & Signal) , ページ 33」を参照してください。</p>	<p>設定 または システムの準備</p>
 <p>ログ</p>	<p>システムイベントの概要と保存。「ロギング (Logging) , ページ 34」を参照してください。</p>	<p>設定</p>
 <p>システム情報</p>	<p>システムの概要。「システム情報 (System info) , ページ 34」を参照してください。</p>	<p>設定</p>
 <p>ログアウト</p>	<p>ディスカッションアプリケーションを終了して、ログインページに戻ります。「ログアウト (Logout) , ページ 34」を参照してください。</p>	<p>なし</p>
 <p>ホーム</p>	<p>Web ブラウザインターフェイスホームページに戻ります。</p>	<p>なし</p>
 <p>戻る</p>	<p>前のページに戻ります。</p>	<p>なし</p>
	<p>ロゴチェックボックスを選択し、Wireless Device Extended (DCNM-WDE) タッチスクリーンにロゴを表示します。</p>	<p>設定 または 会議の管理</p>

ボタン	説明	アクセス権
ロゴ	ロゴが表示されている場合、スピーカーリストは表示されません。ロゴは、[システム設定 (Systems settings)] > [アップグレード (Upgrade)] ページから変更できます。 この機能は、会議開始前や休憩時などに使用します。	
 主音量 (Master volume)	マスター音量コントロールスライダを開きます。ワイヤレスデバイスのスピーカーの音量をコントロールします。	設定 または 会議の管理

RESTful アプリケーションプログラミングインターフェイス (API)

DICENTIS ワイヤレス会議システムは、次の機能を持つ RESTful API を備えています。

注: RESTful API は、HTTP リクエストを使用してデータの GET、PUT、POST および DELETE を行うアプリケーションプログラミングインターフェイスです。

Speakers

この機能は、発言者のマイクを制御します。すべてのアクティブな発言者のリストを取得することができます。発言者リスト内の発言者を追加または削除することができます。この機能の用途には、次のものがあります。

- サードパーティのパン / チルト / ズーム (PTZ) カメラシステム。
- マイク情報を必要とする Web キャストおよびレコーダソリューション。
- マイク管理用のシノプティックレイアウト。

Waiting-list

この機能は、待機リストを制御します。すべての待機中の発言者のリストを取得することができます。待機リスト内の発言者を追加または削除することができます。

この機能の用途には、次のものがあります。

- サードパーティのパン / チルト / ズーム (PTZ) カメラシステム。
- マイク情報を必要とする Web キャストおよびレコーダソリューション。
- マイクを有効または無効にするためのシノプティックレイアウト。

System

この機能は、次のことを実行できます。

- システムをスタンバイにセットします。
- システムをスタンバイから回復します。

すべてのデバイスの電源をオフにします

Voting

1. 投票を設定できます。
2. 投票を開始および停止できます。
3. 個々の投票結果は、API 経由で取得することができます。

アプリケーションプログラミングインターフェイスの詳細については、

- <https://licensing.boschsecurity.com/software> からダウンロードできる API マニュアルを参照
- 次に保存されている情報にアクセスしてください (DCNM-WAP) : <URL>/REST_API.html
 - <WAP ホスト名または IP アドレス>/REST_API.html

参照情報

- ログイン (Login) , ページ 9

- ユーザー (Users) , ページ 22
- 座席 (Seats) , ページ 29
- 電源, ページ 33

5.1 ディスカッションの管理 (Manage discussion)

前提条件:

- ログオン済みユーザーは、「**会議の管理**」アクセス権を持っている必要があります。



ホームページで **【議論の管理】** ボタンをクリックすると、**【議論の管理】** ページが開きます。

ディスカッションの管理とは、次のことを意味します。

- ディスカッションリストの表示: 待機中および発言中の参加者。
- 待機中および発言中の参加者を追加および削除します。
- 待機中の参加者をシフトさせます
- マスター音量コントロール。



ディスカッションの管理

このページにはディスカッションリストが表示されますが、これには待機中および発言中の参加者の別々のリストが含まれます。

- **【+】** ボタンをクリックすると、**【待機】** リストまたは**【発言者】** リストで参加者または座席を選択および追加できます。
- **【ごみ箱】** をクリックすると、**【待機】** リストまたは**【発言者】** リストから参加者または座席を削除できます。
- **【シフト】** ボタンを使用すると、**【待機】** リストから**【発言者】** リストから参加者または座席をシフトできます。**【発言者】** リストがいっぱいの場合、最も長く発言している**【参加者】** (または座席) がリストから削除されます。
- **【すべてを停止して削除】** ボタンをクリックすると、すべての待機中の発言者および発言者をリストから削除することができます。

【発言者】 リストに追加できる参加者または座席の最大数は、**【prepare discussion (ディスカッションの準備)】** ページで設定できます。「**ディスカッションの準備 (Prepare discussion)** , ページ 16」を参照してください。

注: 議長のマイクは常に有効化できるため、座席の最大数に議長席は含まれません。



マスター音量コントロールボタン

マスター音量コントロールボタンをクリックすると、ワイヤレスデバイスのスピーカーとワイヤレスアクセスポイントの音量出力レベルを調整できます。

5.2 ディスカッションの準備 (Prepare discussion)

前提条件:

- ログオン済みユーザーは、「**会議の準備**」アクセス権を持っている必要があります。



ホームページで【**議論の準備**】ボタンをクリックすると、【**議論の準備**】ページが開きます。

【議論の準備】とは、次のことを意味します。

- ディスカッション設定の定義。

ディスカッションの準備

- 【**ディスカッションモード**】: ページ上部のディスカッションモードをクリックして選択します。そのボタンが灰色で強調表示され、そのディスカッションモード用のオプションが有効化されます。
 - 【**開く**】: 参加者はマイクボタンを押すことによりマイクをオンにできます。発言者の最大数に達すると、マイクボタンを押す次の参加者が待機リストに追加されます。オンになっているマイクがオフになると、「待機リスト」にある最初の参加者が発言できるようになります。オープンマイクの最大数は 25 です。議長のマイクは常に有効化できるため、発言者およびオープンマイクの最大数には、議長のマイクは含まれません。 [**自動シフト**] : 選択すると、発言者リストに空きがある場合、待機中リストにあるキューが自動的に発言者リストにシフトされます。
 - 【**オーバーライド**】: 参加者は、マイクボタンを押して他の参加者の発言に割り込むことができます。発言者が最大数に達した場合、次の参加者が自分のマイクボタンを押すと、最も長い時間有効になっていたマイクが無効になります。議長のマイクは発言者およびオープンマイクの数に含まれないため、これらのマイクは参加者によって「オーバーライド」されることがありません。
 - 【**音声**】: 参加者がマイクに向かって発言すると、マイクがオンになります。マイクボタンを押し続けると、マイクは一時的にミュートされます。
 - 【**プッシュトゥートーク**】: 参加者はマイクボタンを押し続けることによりマイクをオンにできます。マイクボタンを解放すると、マイクはオフになります。同時にアクティブにできるマイクの最大数は、発言者リストにある発言者の最大数によって決まります。
- **発言者オプション:**
 - 【**発言者の最大数**】: 発言者リストの発言者の最大数を選択します。
 - 【**30秒間未使用の場合にマイクのスイッチをオフにする**】: 発言者がマイクのスイッチを手動でオフにするのを忘れたときに、この機能を使用できます。
 - 【**参加者がマイクをオフにすることを許可**】: このオプションが選択されていると、参加者は自身のマイクをオフにすることができます。
 - 【**発言が可能であることを表示**】: 選択すると、参加者が発言可能である場合、ワイヤレスデバイス マイクリクエストボタンの白色のシンボルが点灯します。
- **待機オプション:**
 - 【**待機の最大数**】: 待機中リスト内に置かれるリクエストの最大数をここで選択できます。待機リストを使用しない場合は、【**待機の最大数**】をゼロに設定します。
 - 【**発言者が待機リストから自分自身を削除することを許可**】: このオプションが選択されていると、参加者は自身を待機中リストから削除できます。
 - 【**座席に待機リストの先頭を表示**】: これを選択すると、待機中リストの先頭である ワイヤレスデバイス マイクの上の LED が緑色の点灯から緑色の点滅に変わります。
- **優先オプション:**
 - 【**優先チャイムを鳴らす**】: このオプションが選択されていると、装置の優先ボタンを押したときに優先チャイムが鳴ります。
 - 【**すべての発言者をミュート**】: このオプションが選択されていると (グレー)、装置の優先ボタンを押したときにすべての発言者が一時的にミュートされます。

- **[すべての発言者を停止してすべての待機中の参加者を削除]** : このオプションが選択されていると（グレー）、装置の優先ボタンを押したときにすべての発言者とリクエストがキャンセルされます。

5.3 投票 (Voting)

前提条件:

ログオン済みユーザーは、「**会議の管理**」アクセス権を持っている必要があります。



投票を管理するには、ホームページで **[投票]** ボタンをクリックします。すると、**[投票の管理]** ページが開きます。

【投票の管理】とは、次のことを意味します。

- 投票設定を定義し、
- 投票を管理します。

投票設定の定義

- **[トピック:]** : 投票の名前です。この名前は、投票が開始されると Wireless Device Extended (DCNM-WDE) のタッチスクリーンにも表示されます。
- 次の回答セットのドロップダウンメニューが表示されます。
 - **賛成/反対**
 - **賛成/反対/棄権**
 - **賛成/反対/棄権/DNPV**
 - **はい/いいえ**
 - **はい/いいえ/棄権**
 - **はい/いいえ/棄権/DNPV**

選択した回答セットは、投票が開始されると Wireless Device Extended (DCNM-WDE) のタッチスクリーンに表示されます。



注記!

DNPV (投票に参加しない) は、参加者が投票に参加したくないことを示すために選択します。このオプションは主にフランスで使用されます (フランス語では「DNPV」ではなく「NPPV」)。

- **中間結果:** 投票が開始されると、オペレータはどの投票結果が表示されるかを設定できます。
 - **合計および個々の結果:** 投票が開始されると、合計の結果がウェブページおよびタッチスクリーン対応のディスカッションデバイスに表示されます。合計および個々の結果は API 経由で使用可能になります。
 - **合計の結果:** 投票が開始されると、合計の結果のみがウェブページ、タッチスクリーン対応のディスカッションデバイス、および API に表示されます。投票が保留または終了になると、合計の結果がウェブページおよびタッチスクリーン対応のディスカッションデバイスに表示されます。合計および個々の結果は API 経由で使用可能になります。
 - **中間結果なし:** 投票が開始されても、結果はウェブページ、タッチスクリーン対応のディスカッションデバイス、および API に表示されません。投票が保留または終了になると、合計の結果がウェブページおよびタッチスクリーン対応のディスカッションデバイスに表示されます。合計および個々の結果は API 経由で使用可能になります。
- **[100% setting (100% 設定)] :**
 - **[Present (出席)]** ボタン: 100% = 出席ボタンを押したすべての参加者。
 - **[Authorized for voting (投票許可)]** : 100% = システム内のすべての参加者。
 - **[Cast votes (投じられた票)]** : 100% = 投票したすべての参加者。
- **個々の結果:** 個々の投票結果の可用性を有効または無効にすることができます。個々の結果を無効にして、「秘密投票」や匿名投票を作成することができます。



注記!

参加者が投票を行う場合、投票には個々の結果のみが含まれます。

投票の制御

- **【開く】** ボタン: 投票を開始します。投票が開始されると、このボタンは **【保留】** ボタンに変わります。
- **【保留】** ボタン: 投票を保留にします。参加者の投票ボタンは一時的にオフになり、投票の変更や実行を行うことができなくなります。このボタンを押すと、ボタンは **【再開】** ボタンに変わります。
- **【再開】** ボタン: 投票の再開を許可します。再び、投票の実行または変更を行うことができるようになります。このボタンを押すと、ボタンは **【保留】** ボタンに変わります。
- **【閉じる】** ボタン: 投票を終了します。

5.4 システム設定 (System settings)

前提条件:

- システム設定にアクセスしてパラメーターを変更するには、ログオン済みのユーザーが **[設定]** または **[ユーザーの変更]** のアクセス権を持っている必要があります。



ホームページで **[システム設定]** ボタンをクリックすると、**[システム設定]** ページが開きます。

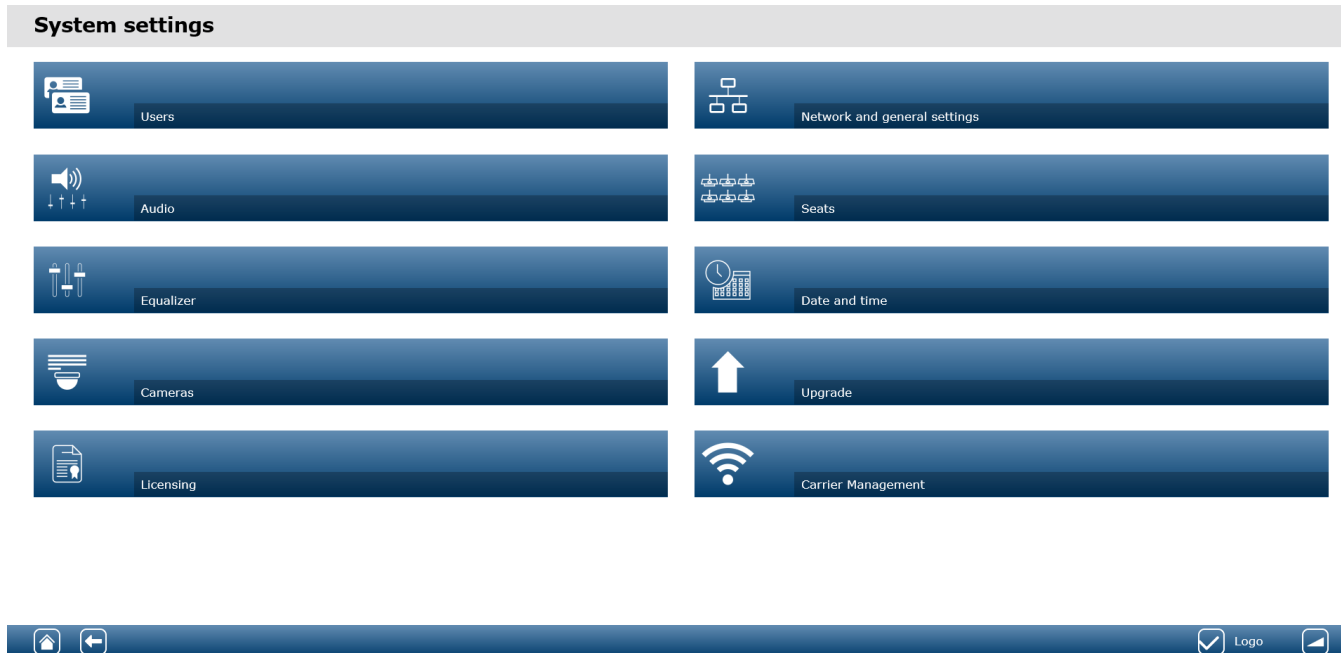


図 5.2: [構成 (Configure)] および [ユーザーの変更 (Modify users)] のアクセス権で表示されるシステム設定ページ

- ユーザーが **[ユーザーの変更]** のアクセス権しか持っていない場合は、**[ユーザー]** ボタンのみが表示されます。
- ユーザーが **[設定]** のアクセス権しか持っていない場合は、**[ユーザー]** ボタンは表示されません。他のすべてのボタンが代わりに表示されます。

5.4.1 アップグレード (Upgrade)



注記!

ソフトウェアアップグレードはタブレットでは利用できません。
タブレットではまた、ソフトウェアライセンスをシステムに追加することができません。



[アップグレード] ボタンをクリックすると、ソフトウェアの **[アップグレード]** ページが開きます。

[アップグレード] ページは、次のために使用します。

- ワイヤレスアクセスポイント (DCNM-WAP) および ワイヤレスデバイス (DCNM-WD と DCNM-WDE) のソフトウェアのアップグレード / 保守。
 - カスタムロゴの Wireless Device Extended (DCNM-WDE) へのアップロード。
1. <https://licensing.boschsecurity.com/software> の製品関連情報ページから、アップグレード用のソフトウェアファイルをダウンロードします。デバイスごとに独自のファイルを置きます。
 - 必ず ワイヤレスデバイス のアップグレードから開始してください。
 - DCNM-WAP は最後にアップグレードします。

2. **【アップグレード】** ページから、**【ファイル:】** ボックスをクリックして、保存したソフトウェアファイルを選択します。
3. Web ブラウザインターフェイスアプリケーションは、選択したファイルに応じて、適切な装置を自動的に選択します。特定の装置にファームウェアをアップロードしない場合は、該当する装置のチェックボックスをオフにします。
4. **【開始】** ボタンをクリックして、アップロードプロセスを開始します。
 - アップロードプロセスを示す **【進捗】** バーが表示されます。
 - アップロードステータスが **【状態】** 列に表示されます（再起動後に **【静止】**、**【プログラム中】**、**【再起動中】**、**【完了】**、または **【失敗】**）。アップグレードされたファイルが壊れているか認識されない場合、エラーメッセージが表示されます。
 - ソフトウェアバージョン（番号）が **【バージョン】** 列に表示されます。アップロードされたソフトウェアのバージョン番号は、アップグレードプロセスが成功した場合にのみ表示されます。
 - DCNM-WAP のアップグレードが完了すると、すぐに再起動されます。

ソフトウェアダウングレード

- ワイヤレスデバイスをダウングレードする場合、ワイヤレスアクセスポイントからの接続が解除され、アップグレードページはダウングレードがいつ完了したかを正しく示すことができません。
- WD(E) の黄色の LED が点灯すると、WD(E) のサブスクリプションを再度行うことができません。
- DCNM-WAP をダウングレードする必要がある場合、すべてのワイヤレスデバイスをまず初期化する必要があります。



注意!

システムの最適なパフォーマンスは、DCNM-WAP および ワイヤレスデバイスのソフトウェアバージョンが同じ場合にのみ保証されます。装置のアップグレードまたはダウングレードを行う場合には、この点に注意してください。

カスタムロゴのアップロード

カスタムロゴは、アップグレードソフトウェアと同様に ワイヤレスデバイス (DCNM-WDE) にアップロードできます。次の条件が適用されます。

- ファイル名は DCNM-WDE で始まる必要があります。
- アップロードできるのは、寸法が 480 x 272 ピクセルの PNG ファイルだけです。他のファイル形式および寸法はサポートされていません。

オープンソースソフトウェアのライセンス

オープンソースソフトウェアのライセンス条件にアクセスするには、次に移動します。

DCNM-WAP の場合:

- **【システム情報 (System info)】** ページで、ページ下部にあるライセンスのリンクをクリックして、ライセンスファイルをダウンロードします。

すべてのデバイスの場合:

- **【アップグレード (Upgrade)】** ページで、該当するデバイスの **【ライセンス (Licenses)】** 列の **【ダウンロード (Download)】** リンクをクリックして、ライセンスファイルをダウンロードします。

5.4.2



ユーザー (Users)

[system settings (システム設定)] ページの [ユーザー] ボタンをクリックすると、[user settings (ユーザー設定)] ページが開きます。

このページはユーザー情報と権限の入力と変更に使います。

- ユーザーを追加するには、[+] ボタンをクリックして [add new user (新しいユーザーの追加)] 画面を開きます。
- ユーザーの名前を変更するには、ユーザーを選択した後 (ダークグレーの色は選択済みであることを意味します)、ページの反対側にあるパネルを使用して変更を行います。
- ユーザーのパスワードを変更するには、ユーザーを選択した後、[change password (パスワードの変更)] ボタンをクリックします。
- ユーザーの権限を変更するには、ユーザーを選択した後、必要なユーザー権限のボタンをクリックします。
- ユーザーを削除するには、ユーザーを選択した後、ごみ箱をクリックします。

各 (新規) ユーザーについて、次を入力または選択できます。

- **【全般 (General)】**: **【名】**、**【姓】**、**【ユーザー名】**、**【パスワード】** を入力します (空にしておくこともできます)。
- **【ユーザー権限】**: ユーザーにとって必要なユーザー権限を選択します (グレーは選択済みであることを意味します)。
 - **会議の管理**.この権限では、**【議論の管理】** および **【投票】** ページ、および音量コントロールにアクセスできます。「**ディスカッションの管理 (Manage discussion)**」, ページ 15」または「**投票 (Voting)**」, ページ 18」を参照してください。
 - **会議の準備**.この権限では、**【議論の準備】** および **【参加者】** ページにアクセスできます。「**ディスカッションの準備 (Prepare discussion)**」, ページ 16」を参照してください。
 - **ユーザーの変更**.この権限では、**【ユーザー】** ページにアクセスできます。「**ユーザー (Users)**」, ページ 22」を参照してください。
 - **設定**.この権限では、**【システム設定】** ページ (ユーザーが **【ユーザーの変更】** 権限を持っていない限り、**【ユーザーページ】** は除外されます)、**【システム情報】**、**【ログ】**、および **【バッテリーと信号】** ページ、および音量コントロールにアクセスできます。「**システム設定 (System settings)**」, ページ 20」を参照してください。
 - **システムの準備**.この権限では、**【電源】** および **【バッテリーと信号】** ページにアクセスできます。「**電源**」, ページ 33」を参照してください。

5.4.3



音声 (Audio)

[音声] ボタンをクリックすると、[音声の設定] ページが開きます。

- **システム:**
 - **【マスター】**: ワイヤレスデバイスのスピーカーおよび ワイヤレスアクセスポイント のライン出力のマスター音量コントロール。
- **ライン入出力:**
 - **【入力】**: ワイヤレスアクセスポイント の音声ライン入力の感度を設定します。
 - **【出力】**: ワイヤレスアクセスポイント の音声ライン出力のレベルを設定します。
- **ルーティングオプション**: ワイヤレスアクセスポイント のオーディオルーティングモードを定義します。
 - **【レコーダ】**: このモードを使うと、音声ライン出力で外部レコーダーに接続できます。
 - **【フロア】**: このモードでは、音声ライン出力のレベルは **【マスター】** によっても制御されます。
 - **【ミックスマイナス】**: このモードを使うと、音声ライン入力と音声ライン出力で外部電話カプラまたは 2 システムに接続できます。

- **【インサージョン】**：このモードを使うと、オーディオミキサーなどの外部オーディオデバイスやオーディオプロセッサに接続できます。
- **【PA】**：このモードでは、音声ライン出力のレベルは**【マスター】**によって制御されません。
- **【デジタル式ハウリング抑制機能】**：DAFS 機能の設定。
 - **【オフ (Off)】**：DAFS 機能をオフに設定します。
 - **ナチュラル (Natural)**：DAFS 機能をオンに設定し、発言向けの自然なアルゴリズムを選択します。
 - **最大 (Maximum)**：DAFS 機能をオンに設定し、発言向けの最大のアルゴリズムを選択することにより、高いシステム音量レベルでの音響フィードバック（ハウリング）のリスクを低減します。
注：音量レベルを高くすると音声アーチファクトが発生する可能性があります。
- **ハウリング防止**：
 - **【スピーカはマイクがオンになったときに有効になります (Loudspeaker is active when microphone is on)】**：参加者のマイクがオンのときにその参加者のスピーカが有効になります。
 - **【発言時にヘッドホンの音量を下げる】**：このオプションを選択すると、マイクがオンのときにワイヤレスデバイスのヘッドホンの音量が 18 dB に下がります。
- **【テストトーン】**：適切なボタンをクリックすると、**1 KHz** または**スイープトーン**のあるシステムの音声をテストできます。**【オフ】** ボタンをクリックすると、テストトーンが停止します。
 - **【スピーカにテスト音を送信】**を選択すると、接続されたワイヤレスデバイススピーカに対して選択したテストトーンを生成します。
 - **【ヘッドホンにテスト音を送信】**を選択すると、接続されたワイヤレスデバイスヘッドホンに対して選択したテストトーンを生成します。
 - **【ライン出力にテスト音を送信】**を選択すると、ワイヤレスアクセスポイントの音声ライン出力に対して選択したテストトーンを生成します。

5.4.4



イコライザ (Equalizer)

【イコライザ】ボタンをクリックすると、【イコライザ設定】ページが開きます。

【イコライザ設定】ページは、ワイヤレスアクセスポイント および ワイヤレスデバイス スピーカ一の音声ライン入力と音声ライン出力のイコライザの設定を行うために使用します。

イコライザフィルタ

- **フィルタ1 (Filter 1)** タイプ：シェルビングフィルタ - 固定品質要素の低周波数のシェルビングフィルタです。
- **フィルタ2、3、4 (Filter 2, 3, 4)** タイプ：フルパラメトリックセクション - 品質要素、ゲイン、周波数が調整可能な3つのフルパラメトリックフィルタです。
- **フィルタ4 (Filter 4)** タイプ：シェルビングフィルタ - 固定品質要素の高周波数のシェルビングフィルタです。

イコライザ設定

次の手順でフィルタを構成します。

1. フィルタの周波数を入力します。可能な値は50 Hz ~ 22 kHzです。
2. フィルタのゲインを入力します。可能な値は0.1単位で-12 dB ~ +12 dBです。
3. フィルタの品質 (Q) 要素を入力します。可能な値は0.1単位で0.4 ~ 14です。
4. チェックマークをクリックすると、フィルタの有効化またはバイパスを切り換えられます。すべての変更は即座に適用されます。

5.4.5



カメラ (Cameras)

【カメラ】ボタンをクリックすると、【カメラ設定】ページが開きます。

- **【オーバービューカメラ】**：オーバービューカメラとして使用するカメラを定義します。

- **【プレポジション】**： オーバービューで使用するカメラのプレポジションを定義します。
注： PTZ / ドームカメラがオーバービューカメラとして選択された場合にのみ使用可能です（固定カメラまたは**【なし】**が選択された場合、このフィールドは非表示です）。合計 6 台のカメラを接続できます。次の HD-SDI スイッチャーがサポートされています。
 - TvOne CORIOmatrix mini。
 - Kramer MV-6。
- **【SDIスイッチャー】**： 使用する HD-SDI ビデオスイッチャーの IP アドレスを入力します。先頭のゼロは使用しません。先頭のゼロが入力されると、DCNM-WAPはスイッチャーを制御できません。
 - **例**：
 正しいIPアドレス： 192.168.10.111
 間違ったIPアドレス： 192.168.010.111
- **オーバービューリスト**： 接続中のすべてのカメラがリストされています。オーバービューリストには、**カメラ名、URL、シリアル番号、ユーザー名、パスワード、プロトコル**、およびカメラが接続されているビデオスイッチャーの**入力**が示されます。
 - カメラの**シリアル番号**は、カメラの構成 Web ページへのリンクとして使用されます。
注： デスクトップ PC およびノート PC、またはタブレット装置が本システムの有線 Ethernet 接続経由で接続されている場合にのみ可能です。



注記!

Bosch ONVIF Camera にファームウェア 5.80 以降がインストールされていることを確認してください。

ONVIF カメラ

ONVIF カメラは自動的に検出されますが、次のことを行う必要があります。

1. カメラでユーザー名とパスワードが構成されている場合、ユーザー名とパスワードを入力します。
2. カメラが接続されているスイッチャー入力を選択します。

Panasonic と Sony のカメラ

本システムでは、300 / 360 シリーズ用の CGI コマンド経由で Sony IP カメラが、CGI プロトコル（HD Integrated Camera Interface 仕様バージョン 1.06）経由で Panasonic IP カメラがサポートされます。

Panasonic と Sony のカメラは自動的に検出されません。次のことを行う必要があります。

1. **【+】** ボタンを使用してカメラを手動で追加します。
2. カメラの URL（非セキュア接続の場合は http://、セキュア接続の場合は https:// で始まる URL）を入力します。
3. カメラのユーザー名とパスワードを入力します。
4. **【Protocol】** フィールドでは、Sony カメラの場合に **【Sony】** を、Panasonic カメラの場合に **【Panasonic】** を選択します。
5. カメラが接続されているスイッチャー入力を選択します。

カメラが正しく接続されるまで、ゴミ箱が**カメラ名**の横に表示され、これを使用してカメラを削除できます。

カメラの接続が完了する（**【URL】**、**【Username】**、**【Password】**、および**【Protocol】** フィールドがすべて正しい）と、**【Serial number】** 内のリンクを使用して特定のカメラを参照できます。

注： 接続されていないカメラのみ削除できます。

**注記!**

[カメラ名] を使用して、カメラに論理的な名前（たとえば、「右後方のカメラ」）を割り当てることができます。

5.4.6**ライセンスング (Licensing)**

[ライセンス許諾] ボタンをクリックすると、[ライセンス許諾] ページが開きます。

ライセンスングは、ソフトウェアライセンスを購入した場合にのみ必要です。

[ライセンス許諾] ページでは、有効なライセンスの概要を提供します。

ライセンスのアクティベーション:

ソフトウェアを有効にするには、ソフトウェアライセンスの購入後に電子メールで送信されるアクティベーションIDが必要です。アクティベーションには USB メモリスティックとインターネットに接続された PC が必要です。

注: ライセンスのアクティベーションはタブレットではサポートされていません。

1. USB メモリスティックを ワイヤレスアクセスポイント (DCNM-WAP) に接続された PC に差し込みます。
2. [ライセンスの追加] ボタンをクリックします。
3. 必要な**お客様情報**および**アクティベーションID** をすべて入力し、[ライセンスの追加] ボタンをクリックして、[有効化] ボタンをクリックします。**注:** **アクティベーションID**は複数追加できます。すべてのアクティベーション ID を追加した後、**有効化** ボタンをクリックします。
 - [名前を付けて保存 (Save as)] ダイアログが表示されます。"リクエストファイル" を USB メモリスティックに保存します。
4. インターネットに接続されているデスクトップ PC およびノート PC から Web サイト<https://licensing.boschsecurity.com>にアクセスして、ログインします。ユーザー名がない場合、お近くの Bosch の窓口で連絡してアカウントを取得してください。
 - [ライセンスの管理 (Manage license)] にアクセスして、"リクエストファイル"を USB メモリスティックからアップロードします。
 - "応答ファイル" を USB メモリスティックに保存します。
5. DICENTIS Web ブラウザインターフェイスアプリケーションで、[**応答メッセージの処理**] ボタンをクリックします。USB メモリスティックから正しい応答ファイルを選択して、[開く (Open)] をクリックします。
 - これでライセンスは有効になりました。
 - 新しい機能が追加され、システムで使用できます。

ライセンスの返却 (Returning a license)

ライセンスの返却プロセスはライセンスのWebサイトで開始します。

1. <https://licensing.boschsecurity.com>にログオンします。
2. 概要に移動し、ライセンスを返却するお客様を探します。
3. [場所 (Location)] 列のリンクをクリックすると、[システム詳細 (System details)] ポップアップが開きます。
4. [ライセンスの返却 (Return License)] ボタンをクリックします。
 - ファイルが生成されます。USB メモリスティックに保存します。
5. Web ブラウザインターフェイスアプリケーションのライセンスページにアクセスします。
6. [**応答メッセージの処理**] ボタンをクリックします。
 - USB メモリスティックから正しいファイルを選択して、[開く (Open)] をクリックします。

- [名前を付けて保存 (Save as)] ダイアログが表示されます。ファイルを USB メモリスティックに保存します。
- 7. ライセンス Web サイトに戻り、[ライセンスの管理 (Manage license)] に移動し、USB メモリスティックから "リクエストファイル" をアップロードします。
 - これでライセンスは返却されました。

5.4.7



ネットワークと全般設定 (Network and general settings)

[ネットワークおよび一般設定] ボタンをクリックすると、[network and general settings (ネットワークと全般設定)] ページが開きます。ここでは、ネットワークと全般設定が表示され、設定することができます。

ネットワーク設定を入力 / 変更するには、[ネットワーク設定の変更] ボタンをクリックします。

- **ネットワーク設定:**
 - **ホスト名:** DCNM-WAP のネットワーク名を入力します。デフォルト名は「**dcnm-wap**」です。
- **WiFi**
 - [ネットワーク名 (SSID)] : **Bosch DICENTIS** (初期設定)。
 - [WPA2キー] (パスワード) : **dcnm-wap** (初期設定)。
 - [チャンネル] : 現在選択されている WiFi チャンネルを表示します。チャンネルは、[キャリアマネジメント (Carrier Management)] ページで選択できます。「キャリアマネジメント, ページ 30」を参照してください。
- **Wired (ワイヤード) :**
 - [Fixed IP (固定 IP)] : 固定 IP アドレスを使用する場合はこのチェックボックスを選択します。下のフィールドがグレーから白に変わり、有効になったことを示します。
 - [IP address (IP アドレス)] : 有効な IP アドレス。
 - [Subnet mask (サブネットマスク)] : 有効なサブネットマスクを入力します。
 - [Default gateway (デフォルトゲートウェイ)] : 有効なデフォルトゲートウェイを入力します。
- [WAP の冗長性 (WAP redundancy)] : これらの設定を使用して、スタンドアロン、プライマリまたはセカンダリのワイヤレスアクセスポイントとして WAP を構成します。[プライマリ (Primary)] および [セカンダリ (Secondary)] ボタンは、冗長システムを設定するために使用します。
 - [スタンドアロン (Standalone)] (初期設定) : 単一のワイヤレスアクセスポイントとして接続された WAP 機能。冗長 WAP は構成されていません。
 - [プライマリ (Primary)] : プライマリワイヤレスアクセスポイントとして接続された WAP を選択します。これを行なうには、[プライマリ (Primary)] を選択します。WAP がプライマリに設定されるとすぐに、[サブスクリプションモード (Subscription mode)] チェックボックスが有効になります。このチェックボックスは、セカンダリ WAP のサブスクリプションを有効にするのに使用します。
 - [セカンダリ (Secondary)] : セカンダリワイヤレスアクセスポイントとして接続された WAP を選択します。これを行なうには、[セカンダリ (Secondary)] を選択します。WAP がセカンダリに設定されるとすぐに、[サブスクリプションモード (Subscribe)] ボタンがログインした後に有効になります。このボタンは、セカンダリ WAP をプライマリ WAP にサブスクリプションするのに使用します。
 - [サブスクリプションモード (Subscription mode)] チェックボックス: プライマリ WAP のこのチェックボックスをセカンダリ WAP の [サブスクリプションモード (Subscribe)] ボタンと組み合わせて使用することで、セカンダリ WAP をプライマリ WAP へサブスクリプションします。[サブスクリプションモード (Subscribe)] ボタンを 2 分以内に選択しない場合、チェックマークが消えるため、再度選択する必要があります。

- **【サブスクライブ (Subscribe)】** : セカンダリ WAP のこのボタンをプライマリ WAP のサブスクリプションモードと組み合わせて使用することで、セカンダリワイヤレスアクセスポイントとしてその WAP をサブスクライブします。WAP の構成および動作ステータスは、**【サブスクライブ (Subscribe)】** ボタンの下に表示されます。

冗長 WAP のセットアップ

この手順では、ワイヤレス操作での冗長 WAP または冗長性の設定方法について説明します。

前提条件

- 両方の WAP が DCN multimedia システムネットワークケーブルまたは標準ネットワークケーブルでイーサネットネットワークに接続され、イーサネットネットワークスイッチがラップトップまたは PC に接続されていることが望ましい。
注: WAP のアクセスやサブスクリプションをより簡単にするため、イーサネットネットワークのスイッチやケーブルの使用が、サブスクリプションプロセスで推奨されます。セカンダリ WAP のサブスクリプションが完了した後、必要がなければ、イーサネットネットワークのスイッチやケーブルを取り外すことができます。
- WAP が正しく配置される (2 つの WAP 間の距離を最短 1 m、最長 3 m にする必要があります)。
- WAP に電源が供給され、ワイヤレス会議システム が動作します。
- 両方の WAP がインストールウィザードで正しく構成され、以下の項目に一意の名前が付けられている:
 - ネットワーク名 (SSID)
 - WPA2 キー
 - ホスト名
- 両方の WAP が**スタンドアロン** (初期設定) に設定されている。
- 適用できるライセンスは、プライマリ WAP およびセカンダリ WAP で使用できます (冗長 WAP には、投票機能や、プライマリ WAP が機能しないときに作業継続用に使用する、座席でのデュアルモードなどの機能の独自のライセンスセットが必要です)。
- 録音 / 再生および PA が必要な場合、音声コネクタが、プライマリとセカンダリ WAP の両方のバランスイン / バランスアウトコネクタに接続されていることを確認してください。
- API (投票結果の表示用) へのアクセスおよび Web ブラウザ設定が必要な場合、イーサネットケーブルがプライマリとセカンダリ WAP の両方に接続されていることを確認してください。

手順

1. 簡単に構成できるように、ノート PC またはデスクトップ PC でブラウザウィンドウを 2 つ並べて開きます。
2. 右側のブラウザウィンドウで、セカンダリ WAP にログインし、**【システム設定 (System settings)】** > **【ネットワークと全般設定 (Network and general settings)】** を選択します。
3. 左側のブラウザウィンドウで、プライマリ WAP にログインし、**【システム設定 (System settings)】** > **【ネットワークと全般設定 (Network and general settings)】** を選択します。
4. **【プライマリ (Primary)】** を選択します。
 - 出荷時の状態にリセットしない限り新しい設定を元に戻すことができないという警告が表示されます。
5. **【続行 (Continue)】** を選択します。
 - **【プライマリ (Primary)】** ボタンは網掛けされた濃い灰色で、WAP がプライマリ WAP として設定されていることを示します。プライマリ WAP のホスト名が、ホスト名-冗長に変わります。
 - **【スタンドアロン (Standalone)】** および **【セカンダリ (Secondary)】** ボタンはグレーアウトし、もう選択できないことを示します。

- **【サブスクリプションモード (Subscription mode)】** チェックボックスでは、セカンダリ WAP のサブスクライブが有効になります。
- 6. 右側のブラウザウィンドウで、**【セカンダリ (Secondary)】** を選択します。
 - 出荷時の状態にリセットしない限り新しい設定を元に戻すことができないという警告が表示されます。
- 7. **【続行 (Continue)】** を選択します。
 - WAP との接続が失われ、ログアウトします。
- 8. セカンダリ WAP にログインし、**【システム設定 (System settings)】** > **【ネットワークと全般設定 (Network and general settings)】** を選択します。
 - この WAP はセカンダリ WAP として設定されているため、限られた数のオプションのみが表示されます。プライマリ WAP のスイッチがオフになる、または機能しない場合、セカンダリ WAP ではすべてのオプションを利用できます。
 - **【セカンダリ (Secondary)】** ボタンは網掛けされた濃い灰色で、WAP がセカンダリ WAP として設定されていることを示します。
 - **【スタンドアロン (Standalone)】** および **【プライマリ (Primary)】** ボタンはグレーアウトします。
- 9. 左側のブラウザウィンドウで、**【サブスクリプションモード (Subscription mode)】** チェックボックスを選択し、WAP をプライマリ WAP へサブスクライブできるようにします。
- 10. 右側のブラウザウィンドウで、**【サブスクライブ (Subscribe)】** を選択します。
 - セカンダリ WAP がプライマリ WAP を検索し、サブスクライブします。ネットワークによっては時間がかかる場合があります。
- 11. プライマリ WAP (左側のブラウザウィンドウ) で、以下のメッセージが **【サブスクライブ (Subscribe)】** ボタンの下に表示されることを確認してください。
 - **【構成済み (Configured)】** : プライマリおよびセカンダリ。
 - **【動作可能 (Operational)】** : 接続済みのプライマリおよびセカンダリ。
- 12. セカンダリ WAP (右側のブラウザウィンドウ) で、以下のメッセージが **【サブスクライブ (Subscribe)】** ボタンの下に表示されることを確認してください。
 - **【構成済み (Configured)】** : セカンダリおよびプライマリ。
 - **【動作可能 (Operational)】** : 接続済みのセカンダリおよびプライマリ。
- 13. 黄色の三角形がページ下部のバーに表示されていないことを確認してください。この三角形は、WAP への接続が正しくないか失われていることを示しています。この三角形が表示される場合は、各 WAP の **【サブスクライブ (Subscribe)】** ボタンの下にあるメッセージを参照し、システムのステータスを判断してください。
- 14. 冗長 WAP が使用できるようになりました。



注記!

冗長システムの起動後、システムが冗長モードで実行されているか確認します。これを行なうには、WAP の LED を確認するか、ブラウザで WAP のステータスを確認します。

- **一般設定:**
 - **【DCNM-WDE GUI言語】** : Wireless Device Extended (DCNM-WDE) タッチスクリーンで GUI 言語を選択します。
 - **【工場出荷時の設定】** ボタン: このボタンをクリックすると、ワイヤレスアクセスポイントが初期設定にリセットされます。初期設定後、すべての設定はデフォルト値に戻るため、ワイヤレスデバイスのサブスクリプションを行う必要があります。
重要: 初期設定を有効にする前に、すべてのワイヤレスデバイスの電源がオンで、

DCNM-WAP の範囲内に置かれていることを確認してください。ワイヤレスデバイス が初期設定の際に初期化解除されていない場合、再度サブスクライブできるように、手動で初期化解除する必要があります。



注記!

システムを初期設定にリセットした場合、システムのソフトウェアはアップグレード済みの最新バージョンが維持され、インストール済みのライセンスも維持されます。

5.4.8



座席 (Seats)

【座席】 ボタンをクリックすると、【座席設定】 ページが開きます。

ここでは ワイヤレスデバイス を座席に割り当てることができます。

- 座席の概要:
 - 【**選択**】: この列のヘッダーは、既知の座席の数および接続された座席の数を示します。座席が接続されていない場合、座席の行の左に【未接続 (disconnect)】記号が表示されます。
 - 【**座席名**】: 座席の名前を変えられます。
 - 【**優先**】: このチェックボックスをオンにすると、参加者は ワイヤレスデバイス の【優先 (priority)】 (議長) ボタンを使用できます。
 - 【**デュアル**】: このチェックボックスをオンにすると、ワイヤレスデバイス はデュアルモード用に構成されます (シートソフトウェアライセンス: DCNM-LSDU が必要です)。
注: デバイスを同時に【優先 (Prio)】および【デュアル (Dual)】にすることはできません。【優先】がオンの場合は【デュアル (Dual)】チェックボックスはオフになります。
注: デバイスをデュアルモードに設定し、一方の座席に対して投票機能または ID 機能を有効にすると、もう一方の座席に対しても投票機能または ID 機能が自動的に有効になります。そのため、この場合には投票または ID のライセンスが 2 つ必要になります。
 - 【**ID**】: このチェックボックスをオンにすると、ID 機能が有効になります。参加者は NFC タグを使って Wireless Device Extended で自らを識別できます (シートソフトウェアライセンス: DCNM-LSID が必要です)。
 - 【**投票**】: このチェックボックスをオンにすると、投票機能が有効になります。参加者は Wireless Device Extended で投票することができます (シートソフトウェアライセンス: DCNM-LSVT が必要です)。
 - 【**カメラ**】: 座席に接続されたカメラ名 (システムソフトウェアライセンス: DCNM-LCC が必要です)。
 - 【**プレポジション**】: 座席に割り当てられたカメラのプリセット位置設定番号 (システムソフトウェアライセンス: DCNM-LCC が必要です)。
- 【**選択モード**】: このチェックボックスをオンにすると、ワイヤレスデバイス は、座席行の左にある【**選択**】記号をクリックして特定できます。選択した ワイヤレスデバイス の赤いマイク LED が点灯して、会議室内での場所を示します。
- 【**登録モード**】: このチェックボックスをオンにすると、ワイヤレスデバイス に関連づけられていない DCNM-WAP は、ワイヤレスデバイス のリクエストボタンを押すことによって DCNM-WAP に関連づけられます。新しい座席がこの装置に割り当てられ、座席のオーバービューに追加されます。「ワイヤレスデバイスの初期化, ページ 10」を参照してください。
- 【**非初期化**】 ボタン: クリックすると、すべての ワイヤレスデバイス のサブスクリプションが消去されます。ワイヤレスデバイス にサブスクリプションがない場合、ワイヤレスデバイス のすべての LED は点灯します。
- 【**接続されていない座席を削除**】 ボタン: システムに現在接続されていないすべての座席を削除します。

5.4.9



日付と時刻 (Date and time)

1. **【日付と時刻】** ボタンをクリックすると、**【日付と時刻の設定】** ページが開きます。
2. **【日付と時刻の設定を変更】** ボタンをクリックして次のものを選択します。
 - **【日付】** : 現在の日付を選択します。
 - **【時間】** : 現地時間を選択します。
 - **【タイムゾーン】** : リストから現地のタイムゾーンを選択します。
3. これらの設定を変更した後、WAP は自動的に再起動します。システムが完全に再起動するまでお待ちください。

注記!

DCNM-WAP は、日付と時刻をインターネットタイムサーバーに自動的に同期することができます。インターネットに接続できない場合、DCNM-WAPはDHCPサーバーが提供するタイムサーバーで同期を試みます。タイムサーバーに接続できない場合、日付と時刻は手動で設定できます。タイムサーバーが利用可能になると、DCNM-WAP は日付と時刻を同期します。

5.4.10



キャリアマネジメント

【キャリアマネジメント (Carrier Management)】 ボタンをクリックすると、**【キャリアマネジメント (Carrier Management)】** ページが開きます。

このページを使用して、ワイヤレス会議システム で使用できるワイヤレスチャンネルを設定します。これらの定義済みチャンネルは、国を選択した後、システムソフトウェアのインストール中にセットアップウィザードによって自動的に選択されます。利用できるチャンネルは、**【キャリアマネジメント (Carrier Management)】** ページ上に表示されています。

動作中、ワイヤレス会議システム は、システムが中断せずに動作できるように、選択したチャンネル間を自動的に切り替えることができます。

- **2.4 G (チャンネル 1 ~ 11)** : 2.4 G 周波数帯で利用可能な非 DFS チャンネル。
- **5 G-U11-1 (チャンネル 36 ~ 48)** : 5 G-U11-1 周波数帯で利用可能な非 DFS チャンネル。
- **5 G-U11-3 (チャンネル 149 ~ 165)** : 5 G-U11-3 周波数帯で利用可能な非 DFS チャンネル。
- **5 G-U11-2 (チャンネル 52 ~ 64)** : 5 G-U11-2 周波数帯で利用可能な DFS チャンネル。
- **5 G-U11-2e (チャンネル 100 ~ 140)** : 5 G-U11-2e 周波数帯で利用可能な DFS チャンネル。

注記!

システムは DFS チャンネルを使用している間、レーダーの存在を継続的に確認します。レーダーが検出された場合、システムは自動的に利用可能で最適な非 DFS チャンネルに切り替えます。

ワイヤレスチャンネルの選択

- システム動作が信頼性の高いものになるように、できるだけ多くのチャンネルを選択し、システムが十分な数のチャンネル間を切り替えできるようにします。
- 少なくとも 1 つの非 DFS チャンネルが常時選択されている必要があります。
- Bosch は、最低 2 つの非 DFS および 1 つ以上の DFS チャンネルを選択して、システムが自由にチャンネル間を切り替えできるようにすることをお勧めします。
- 5 G-U11-1 や 5 G-U11-3 のチャンネルが最適なのは、それが非 DFS チャンネルであり、重複していないワイヤレスチャンネルであるためです。
- 組織で WIFI 機器の使用に関する制限がある場合は、IT 部門にお問い合わせのうえ、ワイヤレス会議システム で使用するチャンネルを決定してください。

5.5 参加者 (Participants)

前提条件:

- ログオン済みユーザーは、「**会議の準備**」アクセス権を持っている必要があります。
- シートソフトウェアライセンス DCNM-LSID が必要です。



ホームページで **[参加者]** ボタンをクリックすると、**[参加者]** および **[本人確認]** 設定ページが開きます。

参加者は座席を割り当てられるか、NFC タグを構成することでシステムで参加者を識別されます。参加者がシステムによって識別されると、参加者の名前が発言者リストおよび待機中リストに表示されます。

注: このページには、NFC タグ ID を自動的に参加者に割り当てる機能があります。

このページでは、次の項目を設定できます。

本人確認

- **オフ (グレー) :**
 - 参加者の名前は使用されず、発言者リストにも待機中リストにも表示されません。
 - 参加者は NFC タグを使って自らを識別できません。
 - 個々の投票結果は使用できず、個々の結果の設定は選択できません。
- **割り当て別 (グレー) :**
 - 参加者には座席が割り当てられる必要があります。座席が参加者に割り当てられていない場合、その座席は使用できません。
 - 参加者は NFC タグを使って自らを識別できません。
 - 座席は参加者を識別することなく使用することができます。
- **割り当て済みの座席 (グレー) :**
 - 参加者には座席が割り当てられる必要があります。座席が参加者に割り当てられていない場合、その座席は使用できません。
 - 参加者は NFC タグを使って割り当てられた座席で自らを識別する必要があります。
 - 参加者が別の座席で自らを識別しようとする、ワイヤレスデバイスにメッセージが表示され、参加者が間違った座席にいることが通知されます。
 - 座席は、割り当てられた参加者が識別されるまで使用できません。
注: 座席には、**[システム設定 (System settings)]** > **[座席 (Seats)]** ページ上で有効化された ID チェックボックスがある必要があります。
- **任意の座席 (グレー) :**
 - 参加者は NFC タグを使って任意の座席で自らを識別できます。
 - 座席は、参加者がその座席で識別されるまで使用できません。

朗読者:

- **[朗読者]** ドロップダウンリストは、参加者に NFC タグを割り当てる **[割り当て]** ボタンと組み合わせて使用されます。
- **[なし] :** リーダー機能は無効です。
- **[座席 (Seat)]** 名: リーダー機能は有効です。
 - **[座席 (Seat)]** 名を **[朗読者]** ドロップダウンリストからクリックして、NFC カードリーダーとして対応するワイヤレスデバイスを構成します。ワイヤレスデバイスにより、NFC タグをワイヤレスデバイスの左側付近に保持する必要があることが示されます。
注: ワイヤレスデバイスは、NFC カードリーダーとして構成されている限り、会議への参加に使用できません。
 - NFC タグをワイヤレスデバイスの左側付近に保持します。**NFC-ID** は、ワイヤレスデバイスのスクリーン上、および **[割り当て]** ボタンの横に表示されます。
 - 参加者の概要 (以下の見出しを参照) で、**NFC-ID** を割り当てる必要がある行を選択します。行全体が濃い灰色で強調表示されます。

- **【割り当て】** ボタンをクリックすると、参加者に NFC-ID が割り当てられます。

割り当て ボタン:

- **【割り当て】** ボタンは、**【朗読者】** ドロップダウンリストと組み合わせて使用して、参加者に NFC タグを割り当てます。

参加者の概要

- **【名前】** : 参加者の (編集可能な) 名前。
- **【NFC-ID】** : 参加者の近距離通信 (NFC) タグの番号。
 - NFC カードリーダーを **【割り当て (Assign)】** ボタンと組み合わせて使用して NFC-ID を入力する場合、このフィールドは自動的に更新されます。
 - カードリーダーが使用できない場合、NFC-ID は手動で入力できます。NFC-ID に正しくない形式が入力された場合、薄い赤色の境界線が **NFC-ID** フィールドの周囲に表示されます。
- **【座席】** : 参加者が割り当てられた座席の名前をリストから選択します。
- **【ゴミ箱 (Trash can)】** : 選択された参加者を削除します。

識別が使用され、参加者が待機中リストにいる場合、その参加者はシステムからログアウトしても、待機中リスト内での自分の位置を維持することができます。この発言リクエストのタイプは、フライングリクエストと呼ばれます。

- **【参加者 (Participant)】** ページで **【任意の座席 (at any seat)】** オプションが有効になっている場合、参加者は自由に任意のデバイスにログインして会議に再び参加することができます。
- 参加者が再び会議に参加せず、発言の順番が過ぎてしまった場合、参加者は自動的に待機中リストから削除されます。

つまり、参加者が特定のデバイスで座席にいなくても、待機中リストを作成できるということでもあります。

例: ある参加者が発言リクエストを行います。その参加者の待機中リスト内の位置が 10 番目なので、会議から少しの間退席することにします。戻ってみると、自分の位置が待機中リストで 2 番目 (間もなく発言) であることが分かったので、急いで最寄りの利用可能なデバイスにログインします。

5.6 電源

前提条件:

- ログオン済みユーザーは、「**システムの準備**」アクセス権を持っている必要があります。



ホームページで【**電源**】ボタンをクリックすると、【電源 (power)】ポップアップウィンドウが開きます。

- 【**オン**】: DCNM-WAP を有効化します。ワイヤレスデバイス は手動でオンにする必要があります。ユーザーマニュアルの「電源オン」を参照してください。
- 【**スタンバイ (Standby)**】: サブスクリプションが行われたデバイスの電源をオフにし、DCNM-WAP をスタンバイにセットします。DCNM-WAP の Web ブラウザインターフェイスにはアクセスできます。【スタンバイ (Standby)】から【オン (On)】に切り替えることで、ワイヤレスデバイス は自動的に再び有効になります (会議を一時停止する場合にこのオプションを使用します)。
- 【**オフ**】: サブスクリプションが行われたデバイスをオフにします。DCNM-WAP の Web ブラウザインターフェイスにはアクセスできますが、DCNM-WAP は伝送を停止します (会議を終了する場合はこのオプションを使用します)
- 【**キャンセル (Cancel)**】: 【電源 (Power)】ポップアップウィンドウをキャンセルします。

5.7 バッテリーとシグナル (Battery & Signal)

前提条件:

- ログオン済みユーザーは、【**設定**】または【**システムの準備**】アクセス権を持っている必要があります。



ホームページで【**バッテリーと信号**】ボタンをクリックし、【**バッテリーと信号**】概要ページを開きます。

現在接続されている ワイヤレスアクセスポイント の各座席に関する次の情報が表示されます。

注: 座席が接続されていない場合、【未接続 (disconnect)】シンボルが座席行の左に表示され、座席行のデータは表示されません。

- 【**座席**】: 座席の名前。
- 【**バッテリー**】: ワイヤレスデバイス でのバッテリーパックの残りの電気容量を時間単位で示します。
注: 電池の交換後または ワイヤレスデバイス の起動後では、表示される電池の時間は実際の電池の使用時間よりも長い場合があります。この値はしばらくすると安定します。
- 【**充電**】: バッテリーパックの電池が充電された回数を示します。
- 【**信号**】: WiFi のシグナル強度を色付き棒グラフで示します。
- 【**テスト**】: この列はカバーエリアテストの結果を示します。
- 【**範囲テストの開始**】ボタン (ページ下部): このボタンを押すと、カバーエリアテストを開始します。DCNM-WAP システムは、すべての ワイヤレスデバイス が幾つかの周波数で圏内かどうかを測定し始めます。これにより、ワイヤレスデバイス が、障害などで DCNM-WAP が別の WiFi チャンネルに切り換えた場合でも機能できるようにします。
注: 【**テスト**】列および【**範囲テストの開始**】ボタンは、ログイン済みのユーザーが【**設定**】ユーザー権限を持つ場合にのみ表示されます。
- 【**シリアル番号**】: バッテリーパックのシリアル番号。

5.8 ログिंग (Logging)

前提条件:

- ログオン済みユーザーは、「設定」アクセス権を持っている必要があります。



ホームページで **[ログ]** ボタンをクリックし、**[ログ]** ページを開きます。

- **[ビューのクリア]** ボタンを押すと、すべてのイベントがビューからクリアされます。**[ログ]** ページを再度開くまたは更新した後、すべてのイベントが再び表示されます。
- **[エクスポート]** ボタンをクリックすると、現在のイベントログिंग概要ファイル (logging.txt 形式) の保存に関するポップアップウィンドウが開きます。



注記!

ログिंगエクスポートはタブレットでは利用できません。

5.9 システム情報 (System info)

前提条件:

- ログオン済みユーザーは、「設定」アクセス権を持っている必要があります。



[システム情報] は技術者が使用します。ホームページで **[システム情報]** ボタンをクリックし、**[システム情報]** ページを開きます。表示される情報は、次のとおりです。

- デバイスの種類
- ホスト名
- イーサネット MAC アドレス
- イーサネット IP アドレス
- イーサネットサブネットマスク
- イーサネットデフォルトゲートウェイ
- ワイヤレス IP アドレス
- バージョン
- API
- 国
- オープンソースソフトウェアのライセンス条件をダウンロードするためのリンク

5.10 ログアウト (Logout)

前提条件:

- なし



[ログアウト] ボタンをクリックすると、ログアウトし、**[ログイン]** ページに戻ります。

6 ワイヤレスアクセスポイントLEDの動作

ワイヤレスアクセスポイント (DCNM-WAP) のフロントパネルにある LED は、ワイヤレスアクセスポイントの (構成) ステータスの情報を示します。

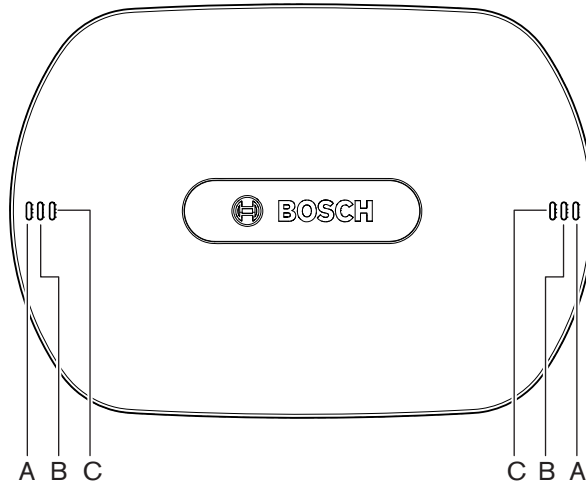


図 6.1: DCNM-WAPステータスLED

青 (A)	赤 (B)	青 (C)	説明
点滅	オフ	オフ	- ワイヤレスデバイスが接続されていません。 - サブスクリプションモードはオフです。
オン	オフ	オフ	- 少なくとも1つのワイヤレスデバイスが接続されています。 - サブスクリプションモードはオフです。
点滅	点滅	点滅	- DCNM-WAP は起動しています。
オン	点滅	オフ	- DCNM-WAP のソフトウェアアップグレードがアクティブです。
オン	点滅	オン	- ワイヤレスデバイスのソフトウェアアップグレードがアクティブです。
点滅	オフ	オン	- サブスクリプションモードはオンです。 - ワイヤレスデバイス が接続されていません。
オン	オフ	オン	- サブスクリプションモードはオンです。 - 少なくとも 1 つの ワイヤレスデバイス が接続されています。
オフ	点滅	オフ	- システムはスタンバイモードです。
オフ	オフ	オフ	- DC 電源が接続されていません。
オフ	オフ	オン	- セカンダリ DCNM-WAP はプライマリ DCNM-WAP に接続しています。

青 (A)	赤 (B)	青 (C)	説明
オフ	オン	オン	- セカンダリ DCNM-WAP はプライマリ DCNM-WAP から切断されました。
LED が左から右に交互に点灯します。			- プライマリ DCNM-WAP のシステムスキャン。

表. 6.1: ステータスLED

7 **トラブルシューティング**

7.1 **カスタマサービス**

障害を解決できない場合は、サプライヤまたはシステムインテグレータにお問い合わせいただくか、Bosch代理店担当者まで直接お問い合わせください。

7.2 **トラブルシューティング表**

症状	考えられる原因	考えられる解決策
ソフトウェアアップグレードに失敗します	ワイヤレスデバイスのバッテリーが充電不足です。	【バッテリーとシグナル (Battery and signal)】 ページでバッテリーの充電を確認し、それに応じてバッテリーを充電してください。
	WAP がオフになっています。	WAP がオンになっていることを確認してください。
	ワイヤレスデバイス がオフになっている、または WAP へのサブスクリプションが行われていません。	ワイヤレスデバイス がオンになっており、WAP へのサブスクリプションが行われていることを確認してください。
	ワイヤレスデバイス が WAP の範囲内に置かれていません。	【バッテリーとシグナル (Battery and signal)】 ページのカバーエリアテストを使用して、ワイヤレスデバイス が WAP の範囲内に置かれているかどうかを確認してください。
	ワイヤレスネットワークが過負荷状態になっています。	DCN multimedia システムネットワークケーブルまたは標準的なネットワークケーブルを使用して、WAP をノート PC またはデスクトップ PC に接続します。 注: 冗長 WAP が構成されている場合は、ノート PC またはデスクトップ PC への 2 台の WAP の接続にイーサネットネットワークスイッチが必要です。
冗長 WAP が動作しません。	プライマリ WAP とセカンダリ WAP の配置が正しくありません。	2 台の WAP 間の距離が最短 1 m、最長 3 m あることを確認してください。
システムが冗長モードに切り替わるとき、セカンダリ WAP にログインできません。	Web ブラウザのキャッシュに、プライマリ WAP の情報が含まれています。	Web ブラウザキャッシュを削除してください。

症状	考えられる原因	考えられる解決策
Web ブラウザインターフェイスがワイヤレスアクセスポイント (DCNM-WAP) に接続していない、またはシステムにログインするときに問題が発生します。	<ul style="list-style-type: none"> - Windows デスクトップ / ノート PC では、Bosch DNS SD がインストールされていません。 - その他のデバイスでは、Apple Bonjour がインストールされていません。 	Bosch DNS SD または Apple Bonjour をインストールしてください。
	Web ブラウザのキャッシュに、以前のソフトウェアバージョンの古い情報が含まれています。	Web ブラウザキャッシュを削除してください。
国を変更することができません。	システムを初期設定に設定する場合にのみ行うことができます。	システムを初期設定に設定してください。 注: システムを初期設定に設定してもソフトウェアはダウングレードされません。システムのソフトウェアはアップグレード済みの最新バージョンが維持されます。現在インストールされているライセンスも影響を受けません。
システムパフォーマンスが最適ではありません。	DCNM-WAP および ワイヤレス デバイスのソフトウェアバージョンが同じではありません。	ソフトウェアをアップグレードしてください。
外部 SDI ビデオスイッチャーで入力の切り替えが行われません。	スイッチャーの設定が正しくありません。	スイッチャーを初期設定にリセットします。その後、TCP 接続ポート番号を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> - Kramer MV-6 スwitchャーの場合は、TCP 接続ポート番号を 5000 に設定します。 - tvOne CORIOmatrix スwitchャーの場合は、TCP 接続ポート番号を 10001 に設定します。
DCNM-WAP のホスト名を変更した後、新しい名前が DCNM-WAP にアクセスできません。	新しいホスト名がシステムソフトウェアによって認識されていません。	システムを再起動してください。
TV-One Corio の Web ページが使用されている場合、TV-One CORIOmatrix mini が DCNM-WAP による切り替えコマンドに反応しません。		TV-One CORIOmatrix mini の Web ページからログアウトしてください。

症状	考えられる原因	考えられる解決策
Web ブラウザアプリケーションが DCNM-WAP にワイヤレスで接続されている場合、カバーエリアテストによってその接続が切断される可能性があります。		ケーブルで DCNM-WAP に接続された Web ブラウザアプリケーションからカバーエリアテストを開始してください。
Web ブラウザインターフェイスでホスト名を変更したり固定 IP アドレスを有効化（無効化）したりする際、ノート / デスクトップ PC が DCNM-WAP との接続を失う可能性があります。		<ul style="list-style-type: none"> - Web ブラウザインターフェイスを閉じてから、再度開きます。 - 新しいホスト名または IP アドレスを使用して、DCNM-WAP にアクセスしてください。
DCNM-WCH05 の青色の電源 LED が点滅して、障害が発生していることを示しています。	充電器の 1 つに、電圧障害または電流障害が発生しています。	- 充電器を再起動します。
Web ブラウザで、チャンネルの 1 つのカバーエリアテスト結果が赤い×印になっています。テスト後、信号はこのチャンネルで再び正常になります。	チャンネルの 1 つで、テスト中にカバーエリア問題が発生している可能性があります。テスト後、システムは使用できる最適なチャンネルに再び移動します。	- カバーエリアテストがチャンネルの 1 つでのみ失敗し、その後回復した場合、赤い×印は無視します。
ワイヤレスシステムでの音声の乱れ。	Windows 10 を実行している PC は、オーディオ Wi-Fi ネットワークへのサブスクリプションが行われています。	- この PC のオーディオ Wi-Fi ネットワークへのサブスクリプションを削除します。
バッテリーが充電されません。または、想定よりも充電に長くかかります。	バッテリーはしばらく使用または充電されていなかったため、デープチャージ状態になっています。	- バッテリーを充電ベイに 1 日放置します。それでも充電されない（タイムアウトモードの場合）、充電ベイから取り外し、再度充電ベイに戻して、もう 1 日放置します。それで問題が解決しない場合は、バッテリーが故障している可能性があるため、交換してください。



Bosch Security Systems B.V.

Torenallee 49
5617 BA Eindhoven
Netherlands

www.boschsecurity.com

© Bosch Security Systems B.V., 2020